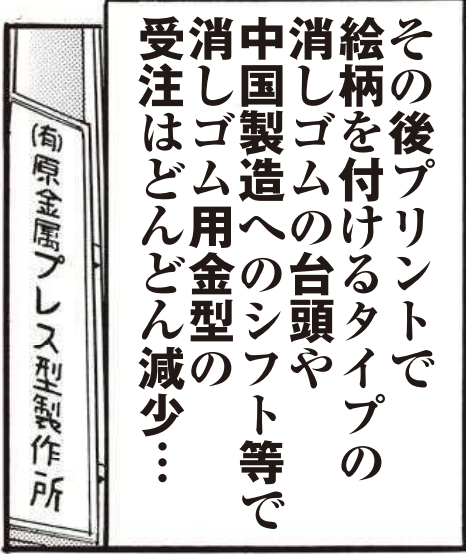
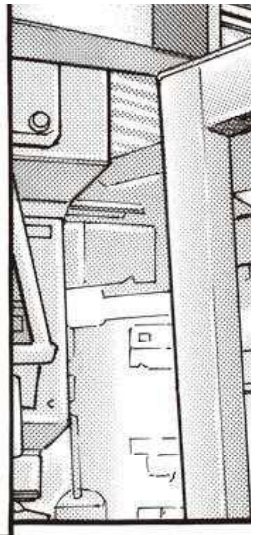


同社はその金型を製造している

押し出し成形とは材料を金型に押し出す成形法

金型プレス型押し出し成形用金型製造の(有)原金属プレス型製作所



(有)原金属プレス型製作所

その後プリントで絵柄を付けるタイプの消しゴムの台頭や中国製造へのシフト等で消しゴム用金型の受注はどんどん減少…



全盛期には関東圏の消しゴムメーカーの型を一手に引き受けていたのだが

かつて消しゴム用多色金型の技術を確立し、それまで単色しかなかった消しゴムの世界を大きく広げて

まちこうば
葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

消しゴム製造技術の応用で多色かまぼこの新境地を拓く

～多色押し出し型～

有限会社 原金属プレス型製作所
作・門脇 英治



消しゴムで培った技術を何か新たな分野に転用できないかと模索していました

現状をどうにかしないといけない…



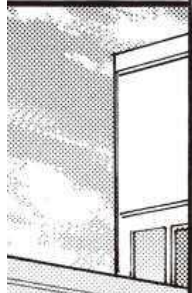
原 徹社長

これだっ

ヒント
発見!

かまぼこ工場の
「押し出し工程」の映像を
取り上げていたのです

工場見学を
取材した
あるTV番組で



カネテツさんはこれまで
キヤラクターものなどの
多色かまぼこを
手がけてきました

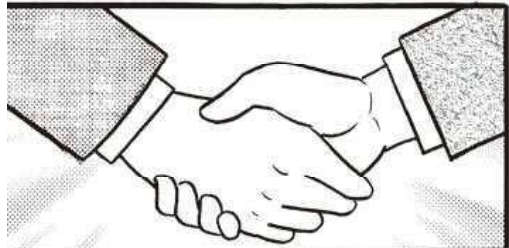
カネテツデリカフーズ

当社の
消しゴム作りの
実績をアピール



さつそくネットで
かまぼこ工場のHPを調べて
カネテツデリカフーズ(株)さんと
アポイントメントを取り

原 淳専務



こうして
かまぼこ製造用
金型の開発が
始まりましたが
消しゴムとの
素材の違いに
頭を悩ませ
ました

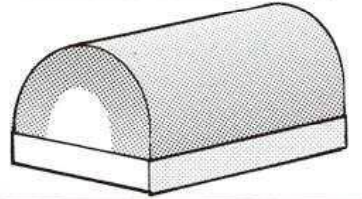
消しゴムのように
図柄がより正確に
出るようなものを
作るノウハウを
探していたのです!



消しゴム

既存のものは図柄の形が
はつきり出ない傾向があり
その点が不満だったようです

消しゴムの材料は
塩ビ樹脂で
成形前の状態は液体
一方かまぼこは
魚のすり身なので固体



メーカーによって使用する
魚の種類もさまざま
また生ものなので
環境変化の影響も受けやすい
性質がほぼ一定の
塩ビ樹脂との大きな違い！

この点が
今回の金型を
手がけた際
最も勝手が
異なったところ
でした



羽子板を
デザインした
かまぼこ金型の
製造工程！

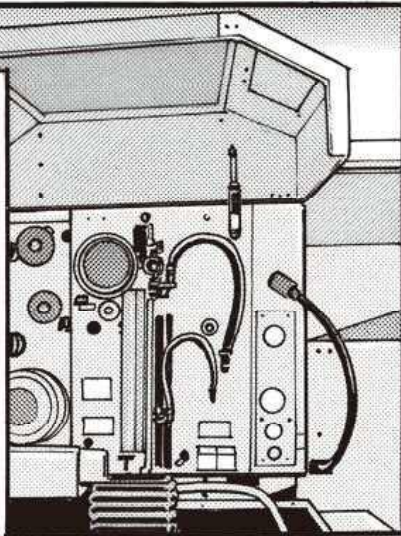


顧客から
作りたいかまぼこの
断面イメージデザインを
もらい

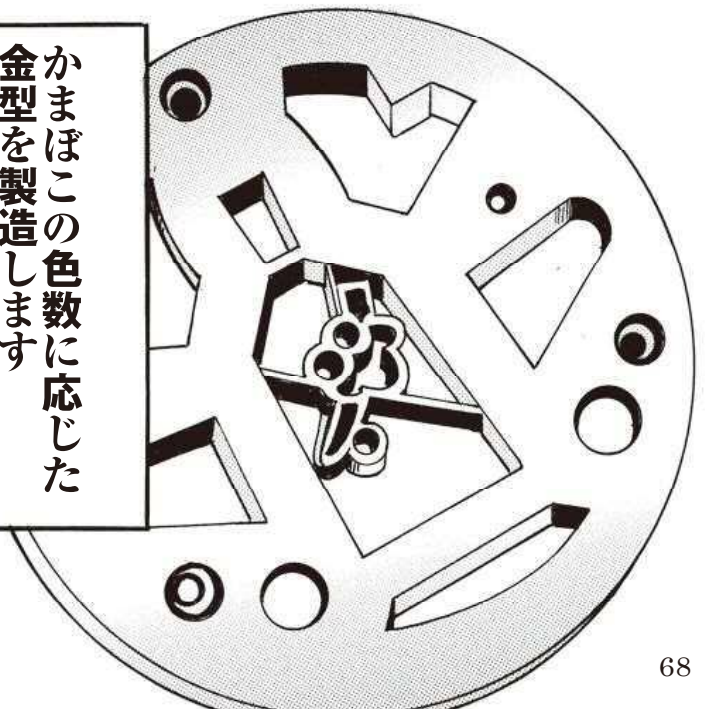
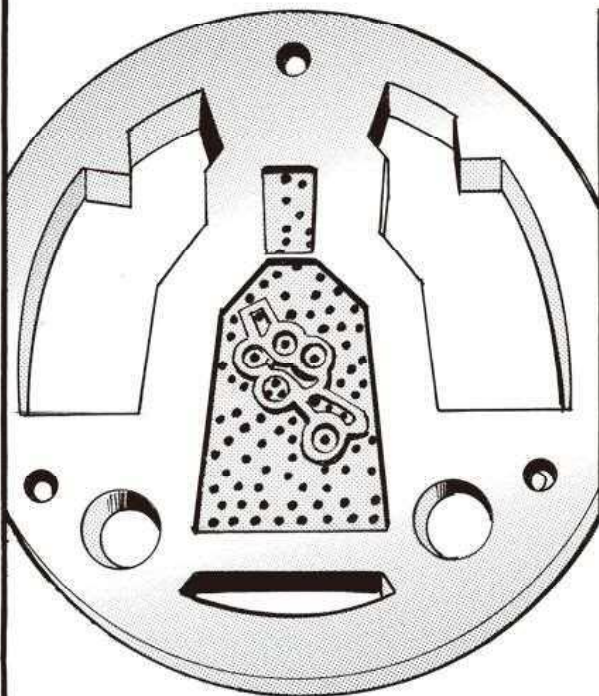
CADで
トレースした後
金型図面を設計



設計したデジタルデータを
もとにワイヤーカット
などで加工して



かまぼこの色数に応じた
金型を製造します



これには金型を工夫して
他の材料の部分と
仕切ることに対応

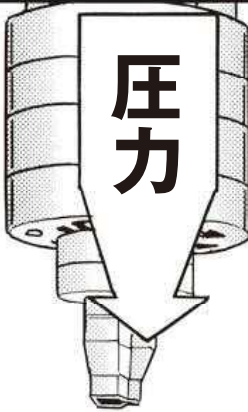


このように
金型を使用する
環境条件に適合した
金型づくりを行う必要が
あります

こういった点で
消しゴム成形での
技術・経験が
役に立っています

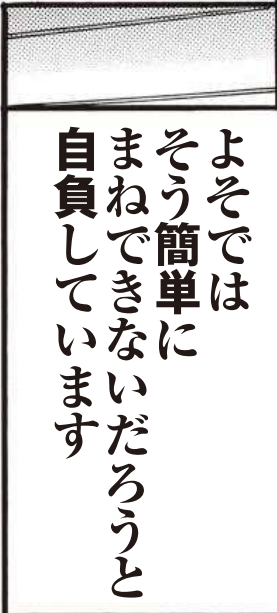


従来の
多色かまぼこ
金型とは異なり
当社の金型では
圧力をかけて
押し出す形に
なります

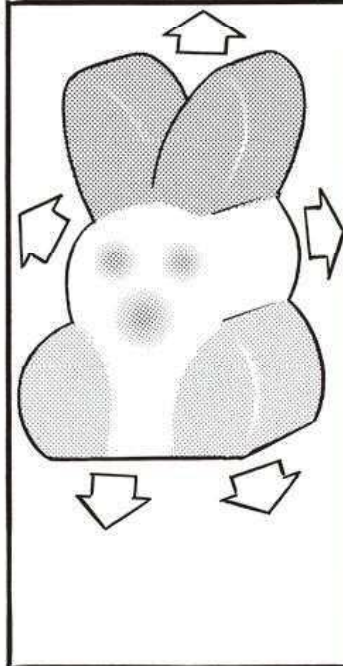


顧客の製造環境に
応じた適切な金型を
作れること
納期が正確であること
などが弊社の強み

よそでは
そう簡単に
まねできないだろうと
自負しています



結果的に材料の空気が抜けて
製品になった時の気泡が
減少するというメリットも
生まれました



現在
カネテツデリカフーズ(株)を
はじめとして
その他メーカー数社との
受注を継続中です

デジタル技術を駆使し
これまでデータの蓄積も
図ってききましたが
より適切なやり方を
手探りで模索中

ファジーな部分から
一定の形にすることが
できるのは消しゴムで
培った経験が
あればこそ

多色押し出し金型は
かまぼこ以外にも
使えます！

ぜひ弊社に
ご相談ください
！